

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成22年8月19日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
1	<p>まちづくり計画について、まほろば大橋から県道705号線、弘法坂にかけて間伐材を利用したベンチがあったが、壊れて撤去されたままになっている。復活の予定は。</p> <p>また、道路が8メートルから16メートルに拡幅されるようだが、その後のソフト面での活性化はどのように考えているか。</p>	<p>県道705号線については自治会、商店会の皆さんと協議会が発足している。今後のことは県の拡幅工事の中で協議会と検討していく。ベンチ等も含めどのように活性化を図るかは今後の話し合いとなる。地権者への説明会は8月30日にある。</p>	<p>地元協議会で県道の拡幅に対する要望をまとめており、ソフト面での活性化は、拡幅工事の進捗状況をよく見極めた上で話し合う予定です。</p>	<p>都市づくり課</p>
2	<p>今後植樹祭の後の計画はあるのか。</p>	<p>現在写真展を各地区でやっている。10月10日にイベントの予定もある。また、市独自の植樹祭をやっているがこれを継続していきたい。</p>	<p>森林への市民の関心も非常に高まっています。植樹活動に加えて、「植樹・育樹・活樹」という森林の循環にも配慮した、持続的な市民参加の森林づくりを行っていく予定です。</p>	<p>森林づくり課</p>
3	<p>介護保険料が上がると市役所で聞いたがどういことか。また施設に入りにくい問題はどうなっているのか。</p>	<p>上がるというのはおそらく3年に一度の見直しに当たるからだと思われる。施設については渋沢に100床の介護保険施設ができる予定。また、開設予定のグループホームもある。</p>	<p>介護保険料の見直しについては、平成24年度予定です。</p>	<p>高齢介護課</p>

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成22年8月19日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
4	<p>施策大綱別計画4のいじめ・不登校に関連し、小中学生の校内暴力や家庭内暴力等について、どのような対策をとっていくのか、この問題についてしっかり取り組んで欲しい。</p>	<p>生徒数の減少に伴いいじめについては減っているが、不登校については微増している。教育委員会とはしっかり取り組んでいきたい。</p>	<p>いじめ・不登校・暴力行為等の問題については、いじめを考える児童生徒委員会の開催、いじめ対策等巡回相談員事業、小学校巡回教育支援相談事業、自立支援教育事業、児童生徒緊急サポート事業等を実施し対応をしています。</p> <p>また、関係者の心のケアのために学校外の機関との連携を図り、学校関係者、教育指導課指導主事、こども家庭相談班、児童相談所、臨床心理士等により、支援チームを組織し、それぞれの役割で対応する体制をつくっています。今後も引き続き実施していきます。</p>	<p>教育指導課</p>
5	<p>本町地区に点在する空き地の後始末について、どのような計画があるのか。</p>	<p>県道705号線の代替用地として考えている。空き家については、自治会でご利用いただいているものもある。</p> <p>地価が下がってきているので拡幅で移動される方がそこに集中するということはないが、柔軟に対応したい。</p>	<p>県道705号の拡幅工事の進捗状況に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。</p>	<p>都市づくり課</p>

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成22年8月19日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
6	<p>総合計画で市民力がうたわれているが、自治会や子ども会の加入率が下がっており、実行が疑問である。自治会としては、子ども会を無料化することで3人増えた。</p> <p>また、年齢的に役員ができないということをやめたいという人もいるが、高齢であればなおさら、加入したほうがよいという話もしている。市の考えはどうか。</p>	<p>子ども会は生徒数13,500人のうち約4,500名参加で約3割強の参加率。</p> <p>子どもたちのコミュニティの多様化で以前は100程度あった会も今は74。工夫して対策をしていきたい。</p> <p>また、自治会の加入率は約6割。加入率の増加は大きな課題として、加入促進を進めていきたい。そのためには自治会へ加入することの魅力のアピールするなどして加入促進につなげていきたい。</p> <p>住民自治については、自分の主張はするが社会参加しない、そのような世の中がもう目の前に来ている。ご提言はよく分かる。また年齢についても、どんなに歳をとってもできることはあるので、ぜひ地域を支えていただきたい。</p>	<p>市民の子ども会活動への協力については、各地区の子どもたちの保護者の方が役員として協力いただいています。加入率の増加については、魅力ある子ども会事業の展開が必要と考えことから、引き続き子ども会育成連絡協議会へ支援いたします。</p> <hr/> <p>自治会の加入率の低下など、地域コミュニティに関する課題が顕著になってきています。このため市外からの転入者に「自治会加入のしおり」の配布、環境創出行為の事前協議事項として、開発事業者に対し、入居者への自治会加入の指導等を実施し、自治会加入の支援に努めていきます。</p>	<p>こども育成課</p> <hr/> <p>市民自治振興課</p>
7	<p>空き家の植木が覆い茂ってしまっているとき行政としてはどのように対処するのか。</p>	<p>原則民地については、所有者が管理しなければならない。市が直接対処するのは難しい。</p>	<p>懇談会における回答と同じ</p>	<p>広聴相談課・建設管理課</p>

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成22年8月19日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
8	<p>総合計画、行革プランも含め市としてどのような施策を最優先としているのかがよく分からない。教育が最も大事だと思うがどうか。</p>	<p>その通りです。教育こそ何を犠牲にしてもやるべきことと考えます。</p>	<p>懇談会における回答と同じ</p>	<p>公共施設再配置計画担当</p>
9	<p>ゴミを捨てる人への対策として、ゴミ箱の設置やたばこのポイ捨て対策に、携帯灰皿の配布や灰皿の設置等を行ってはどうか。</p>	<p>意見として受け止めます。</p>	<p>「ゴミを捨てない」「ゴミを拾う」など市民の環境美化への意識の向上が図れるよう今後もなお一層の啓発活動を実施していきます。</p>	<p>清掃事業所</p>
10	<p>水無川沿岸の電線地中埋設化が進んでいないところがある。今年度中に行われるはずではなかったのか。</p>	<p>今年度収用手続きが始まるが、今年度中に電柱がなくなるということではない。地権者がいることなので時間はかかる。市としても強制執行せずに解決したい。</p>	<p>強制収用をできるだけ回避し、任意交渉による解決を目指します。</p>	<p>国県事業推進課</p>

平成22年度地区別市政懇談会意見・要望 本町地区

平成22年8月19日

No.	質問内容	地区別市政懇談会における回答	現在の状況及び今後の対応等の補足	担当課
11	<p>広報はだのの紙面が変わり、伝言板への掲載文字数が少なくなった。また、伝言板への掲載が同団体については3ヶ月に一度となった。文字を小さくする等の工夫をしてなんとか元に戻せないか。</p>	<p>文字数については高齢者が増えたことを考慮し文字を大きく見やすくした結果。すでに一般紙は大きくなっている。伝言板については、団体間の平等を図るためにルールを決めたのでご理解ください。 また、紙面の工夫については今後も検討していきたい。</p>	<p>懇談会における回答と同じ</p>	<p>広報課</p>
12	<p>水無川の右岸、堀山下の日鍛バルブ辺りの通行止め区間がずっと閉鎖されたままだが、どうなっているのか。</p>	<p>地権者2名の境界確定がなされないために、買収に入れない。このため現在も解決に至っていない。地権者の意見が違う。いろいろと法的なことも行っているが、個人を守ることに手厚い国の法にも矛盾を感じている。</p>	<p>懇談会における回答と同じ</p>	<p>建設管理課</p>
13	<p>市長のマニフェストに「トップマネジメントを発揮した効率的な行政運営」とあるが具体例は。</p>	<p>市長は連携と協働の手法に長けている。植樹祭も大成功だった。教科書のない行政の中でリーダーシップをとっている。2名の副市長の役割分担もトップマネジメントの具体例だと思う。</p>	<p>副市長二人体制により、的確な分担を担うことに「トップマネジメント」を発揮し、施策の迅速な推進に努めています。 過去の具体的な例としては、全国植樹祭の招致、二宮・中井町との広域協議会の設置、日野市・富士宮市との災害時応援協定の締結などであり、また、迅速な対応という点では、契約事務の制度改革、クリーンセンター整備に関する地元調整などがあげられます。</p>	<p>企画課・行政経営課</p>